

📖 幼児期

	書名	本の紹介
1	あおくと きいろちゃん	絵の具で描かれた青や黄色のまるが生き生きと動きまわり、絵本ならではの夢と感動をもたらしてくれる。作者が孫のために作ったという人間愛あふれる絵本。
2	おおきな おおきな おいも	幼稚園の子どもたちが共同で描いたとてつもなく大きなさつまいもをめぐる、子どもたちの空想が無限に広がっていく愉快な話。実際の園での遊びからヒントを得て作られた本。
3	おばけパーティー	おばけのアンリが、友だちみんなをおもてなし。どんなごちそうがでるのか、おばけって、お料理たべたらどうなるのか、楽しみな話
4	おやつがほーい どっさりほい	みえちゃんはピクニックにおでかけ。おやつめあてにはらぺこきつねがついてくる。野をこえ丘をこえ山の上で、さあ「いただきますーす」。ところが、おやつを食べたきつねは、びっくり。
5	かいじゅうたちのいるところ	ある晩、マックスはおおかみのぬいぐるみを着ると、いたずらをはじめておおあばれ。とうとう寝室にほうりこまれた。すると、寝室にによきりによきりと木がはえだして…。
6	きいろいのは ちょうちょ	ちょうちょ！ と思って網をかぶせると意外や意外、花や木の実や風船で失敗また失敗。蝶の形の穴あきしかけでめぐる楽しさ抜群！
7	ぐりとぐら	野ねずみのぐりとぐらは森で大きな卵を見つけた。大きな卵からは、大きなカステラができていった。
8	くれよんのくろくん	ずーっと新品のままだったクレヨンたち。ある日、箱から飛び出したきいろくんは画用紙に蝶を描いて大喜び。次々に他の色のクレヨンたちを呼んできた。ところが、最後に残ったくろくんだけは、仲間に入れてもらえない…。
9	三びきのやぎのがらがらどん	山の草をたべて太ろうとする3匹のヤギのがらがらどんと、谷川でまちうけるトルル(おに)の対決の物語。
10	10ぴきのかえる	10ぴきのオタマジャクシはいたずらぼうずにつかまって、四角いコンクリートの池に入れられた。生まれ故郷のひょうたんぬまになんとかしてかえりたいが…。

📖 幼児期

	書名	本の紹介
11	どうぞのいす	うさぎさんが作った椅子をめぐる次々に繰り広げられるとりかえっこ。「どうぞ」にこめられたやさしさが伝わってくるロングセラー絵本。
12	ねずみくんのチョコキ	ねずみくんのお母さんが編んでくれたチョコキを、さるやライオンやぞうたちが次々に「いいチョコキだね。ちょっと着させて。すこしきついが似合うかな？」チョコキはだんだん伸びていて…。
13	はじめてのおつかい	子どもがいつか必ず経験する、はじめてのおつかい。ひとりのおかあさんが、子どもの体験をもとにつくった話。
14	はらぺこあおむし	くいしんぼうのあおむしは、毎日もりもりと何でも食べつづけ？。数や曜日の認識をおりこみ、穴あきのしかけをこらした斬新な絵本。
15	ぶたのたね	ぶたが木にたわわになってしまう。ぞうがマラソン大会を開くという、展開が愉快的な話。
16	へんしんトンネル	「へんしんトンネル」という不思議なトンネルに入ると、何でも変身。カッパが「かぱかぱ」と言いながら入ると、ぱかぱかと馬になって出てくる。言葉遊びの絵本。
17	まっくろネリノ	まっくろネリノは、兄弟の鳥たちにも仲間はずれにされてしまうが、…
18	めだかのぼうけん	めだかが冒険を知っている？ それは、めだかが生きつづけるための、いのちがけの冒険。身近にある田んぼで暮らす、めだかの冒険のひみつを見にいこう！ 田んぼの1年間と、めだかの暮らしを追う写真絵本。
19	わすれられたもり	子どもたちだけが知っている、都会の中の小さな小さな森。ところがある日、家をたてる工事がはじまることになり…。人と自然のかかわりを透明感あふれるやさしい絵で描きだす、心に残る森の絵本。
20	わたしのワンピース	空から落ちてきた真っ白な布でワンピースを作ったうさぎさん。それを着て花畑を散歩すると、ワンピースが花模様に…不思議な夢のある話。